

# 茶・ちゃ・チャ

発行  
茶道裏千家淡交会新潟青年部  
発行責任者  
部長 阿部美栄子



## 継続は力

新潟支部幹事長 團原宗蒲

昨年は、新潟青年部発会式を青年部会員が協力して無事に終わることが出来ました。準備活動を通して、3青年部が見事に1つの青年部へとまとまることが出来たと聞いています。来年は、青年部発足50周年の年に当たります。今年から準備に入ることになりますが、阿部部長を中心に会員協力し、青年部らしい爽やかな会となることを期待しています。

ところで、青年部の皆様は、どんなきっかけでお茶の世界に入りましたか。様々なきっかけが考えられます。甘いものが好きだった私は、「美味しい和菓子が食べられるよ。」と友人に誘われ、20代中頃入門しました。

当初は、毎回先生が出してくださるお菓子が楽しみでお稽古に通っていました。次第に、着物に興味を持つようになり、焼き物も好きになり窯元を訪ねたりしました。お茶事を経験することにより、楽しみは広がっていきました。しかし、日々のお稽古はというと、仕事と家事に忙殺される中で、決して一生懸命とは言えませんでした。それでも、お稽古が終わった後には、少しさっぱりした気分になったのを覚えています。

「お稽古事というものは長く続けていると、何か見えてくるものがあるものだ」という小説の一節を読んだ事があります。最近、本当にそうだな、と思います。お茶を続けてきたことで、日本の伝統文化の素晴らしさを知り、それに触れる幸せを感じます。また、知らない人でも、お茶をやっているというだけで価値観を共有し、すぐ友達になることができ、世界が広がります。

一生懸命やらなくとも、「継続は力なり」です。青年部を卒業しても、お茶から離れず、お茶を楽しんでいきましょう。「習うお茶」から「するお茶」に一步踏み出してみましょ。まず、身近な友人をお茶にお招きすることからスタートしてみてください。きっと、お茶はもっと楽しくなりますよ。



## 青年の良さは純粹・行動力・一生懸命さ

青年部育成委員会副委員長 中村宗元

昨年の「新青年部発足記念講演会」を全員で取り組み成功させたことで、3青年部が一つになり青年部員の信頼が深まったと思います。

青年の良さは「純粹で行動力があり、何事にも一生懸命である」ことです。お点前で茶杓が振るえるような緊張感をもって一生懸命お茶を点てる姿に、新鮮な感動を

覚えるのです。お手前を間違えても、下手な席主でも、上手にお茶が点てられなくても、おもてなしの心で一生懸命やることが大切なのです。失敗や苦しい時があっても、一生懸命事にあたれば必ず道が開けます。その経験が、やがて自分の財産になるのではないのでしょうか。青年部活動を楽しみ、のびのびと活動し、青年部員の交流を深めて下さい。

青年部育成委員会では、今年の活動として「螢茶会」を青年部員対象に計画しています。足元行灯の灯り、そして「源氏螢」、「平家螢」が幻想的な光りを放って夜空を舞う中での茶席です。お気軽にお越し下さい。

青年部育成委員は、皆さんの悩み事など何でも相談に乗りますので気楽に声をかけて下さい。

## 「ことば」と「青年部綱領」

部長 阿部美栄子

新たな体制として活動を始め2年目となりました。昨年は「新体制1年目だから」と自分に甘くなっていた部分が多くあり反省するばかりでしたが、皆様のご協力により9月の「新潟青年部記念講演会」を無事に終えることができたことは感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

来年は青年部発足50周年の年を迎えます。現在の新潟青年部は組織としては、3代目となります。直前の3青年部時代、さらにその前の昭和40年に新潟支部青年部が発足しておりました。青年部の長い歴史を伝えていくため50周年の記念行事を行うことといたしました。今年から準備を始めてまいりますので、会員の皆様には昨年同様ご協力下さいますよう、よろしく願いいたします。

昨年12月に京都にて代表者会議が行われ、私も部長として出席してまいりました。会議冒頭の御家元のご挨拶の中で「ことば」と「青年部綱領」について、「ともに古くさい言葉ではあるが、意味をかみしめ唱えること。その中にあることを実践していても結果はすぐにでないかもしれないが、続けていることで未来が変わる。それができる茶道である。」とお話をされました。「ことば」は淡交会の行事がある都度唱和いたします。青年部の行事では「青年部綱領」も合わせて唱和いたします。私もこれまでに何回も唱和をしてきましたが、深く意味をかみしめていなかった、それを実践していなかったと思いました。

一人一人が心がけることにより自分の周囲が変わっていくのではないのでしょうか。それが少しずつでも広がっていくよう、私たちも青年茶人として心がけてまいりましょう。

# ○研修報告○

## 第 27 期 L・T 出向員研修 第一回参加報告

L・Tとは・・・全国の青年部の代表が総本部に出向し、青年部の将来のリーダー養成を目的としています。1年単位で年6回の研修が行われます。

川合宗真社中 酒井香織

このたび、第27期の茶道裏千家淡交会総本部主催のリーダーシップ・トレーナー研修の機会をいただき、第一回目の研修に去る2月15、16日に参加して参りました。

あいにく前日からの寒波により関東方面では記録的な降雪という日となり、33名のメンバーのうち、群馬、長野青年部のお二方は当日お集まりになれない、という残念ながら大変印象深い開講となりました。

京都も前日は雪景色となっていたとのことでしたが、15日は雨模様の中、全国から31名が集まり、まずは茶道会館での開講式に臨みました。

開講式では坐忘斎御家元様よりご挨拶を頂戴しました。お話の中で、27年前のリーダーシップ・トレーナー研修のはじまりについて触れられ、リーダーシップ、という言葉に余計に気負うことなく、まずは自分自身を導く力をつけてほしいとお言葉をくださいました。御家元は穏やかに、私たちの緊張をほぐすようにお話しくださり、お話の内容と一年間の研修へ向かう決意とがずとんと自分の胸の内に入った思いがしました。

続いてご宗家の御茶室へと案内をしていただきました。兜門をくぐり、露地を進んで、まず平成茶室へ。聴風の間で、現在までの今日庵の改修の様子やそれぞれのお部屋についてのお話を伺いながらお茶をいただき、その後、寒雲亭や咄々斎などの歴史あるお席を、じっくりと拝観させていただきました。まさに今昔の御茶室をいちどに目にすることができる貴重な機会でありました。

続いて裏千家学園へ移動し、橋本事務局長から御家元指導方針について、関根副理事長から淡交会について、ご講義をいただきました。

翌16日は大徳寺へ向かい、金毛閣と聚光院を、内部までじっくりと拝観させていただきました。また、利休居士と千家歴代の方々の墓参をさせていただき、大変貴重な体験となりました。



その後、裏千家学園へ移り最後にメンバー一人ひとりが自己紹介やこの研修でのやりたいことなどについての3分間スピーチを行い、このたびの研修を終えました。

あっという間の2日間でしたが、初日の夜には次回3月の青年研修でのL・Tのメンバーによる呈茶のための話し合いの場があり、第27期のみなさんとの距離もいちどに縮まったようでした。

これまで話しか聞いたことのなかった御宗家や大徳寺の建物、御茶室や庭、そこにある意匠などを目の当たりにして歴史を肌で感じるとともに、全国からあつまった第27期の皆さんとの出会いの喜びも大きい、大変有意義な2日間でした。この機会を与えていただいたことに心から感謝をするとともに、この1年を私なりの精一杯実りあるものになりたいと思っております。

## ブロック研修チーム 報告

ブロック研修チームとは・・・北陸信越ブロック独自のもので、2014年には12年目に入ります。将来の北陸信越ブロック及び青年部の中心的な役割を果たす人材育成を目的として、1期2年単位で年数回の研修が行われます。

### 猪俣宗水社中 曾我み歩

寒さも残る昨年3月、第1回研修会が金沢で開催されました。今までほぼ新潟青年部の中だけで活動してきた私は、初めてお会いする研修チームの方々のことを考え、道中から緊張していました。

まずブロック役員の方々による呈茶があり、すばらしいおもてなしをしていただき少し緊張もほぐれたように感じました。その後は研修会、そして夜の懇親会へと続き、翌日は巻紙についての講習会でした。2日目にもなると、前日の懇親会で交流を深めていたので、初日のような緊張感はなく楽しむことができました。

第2回研修会(7月)が長野で開催されました。今回はお茶事体験と茶花観察会です。久しぶりにお会いする研修チームの方々、何だか少し懐かしく昔からのお友達に再会したような気分でした。

もちろん研修会はまじめに、そして和やかに。夜の懇親会は楽しく、仲良く。部屋に戻ってからもまだまだお話は続き、回を重ねるごとに仲良くなっています。

第3回研修会(9月)は富山で、まず作陶体験です。各自が作りたい形の茶碗を決め、釉薬も決め完全オリジナルの作品ができあがりました。性格が表れている作品もあれば、意外性のある作品もあり、みなさんのお茶碗を見ているだけでもとても楽しかったです。

翌日は蒔絵体験でした。大荒れのお天気にも係わらず石川県より講師の先生がきてくださり、干菓子盆を作成しました。初めての体験でなかなか思うようには筆が進まず苦戦しましたが、最後のお茶事で使用するのでも今から楽しみです。

研修チームに参加するまでは不安や緊張もありましたが、他の青年部に仲間ができたことはとても刺激にもなり、多くの経験を積むことができました。あと1年間、仲間と共に心を込めて、青年部の活動に励んで参りたいと思います。

### 石川宗嗣社中 山子文孝

道、道具、環境が整っていました。私は、身支度をして歩みを進めるだけで、導かれている気がしました。そして、役員(運営者)の方々の応援や見守りや配慮により、人様の功績に活かされていると、改めて体感するに至りました。また、同志との出会いは、刺激になります。可燃物質と酸素が化合し燃焼する様に。



心を賭した茶道(茶席)は、この世界を楽しむ気付き(発見)を与えてくれます。太陽や月が日を淡々と繰り返す様に、物事に拘らず、素直に経験を積ませて頂こうと思います。感謝しながら。

参加する事も意義に成るかも知れません。

(ブロック役員、第6期研修チームです)

## ○行事報告○

### 総会に出席して

齋藤宗栄社中 総括幹事 小林一彦

2月11日、ユニゾンプラザに於いて、新潟支部幹事長・青年部育成員会委員長の團原宗蒲先生、副委員長の中村宗元先生をお招きして、新潟青年部総会が行われました。

総会に先立ち、会員による薄茶席と、青年部育成委員会による講演会がありました。

薄茶席は、目前に迫っていたオリンピックがテーマでした。随所にちりばめられたアイデアに時折歓声が上がリ、オリンピックへの期待が高まる席でした。

また講演会は、新潟妖怪研究所の高橋郁丸氏を講師に『妖怪で感じる新潟の心』と題して行われました。初めは「どうしてわざわざ妖怪の話なんだろう？」と不思議でしたが、お聞きして『妖怪話』というのは全くの作り話ではなく、昔の人が後世に伝えたいと願った出来事や自然との闘い(水害克服など)の物語だと分かりました。『新潟の妖怪』を知ることは、新潟の隠れた歴史を知ることでした。

総会は、提起された事柄が全て承認されました。終了後、委員会に分かれて今年の活動について話し合いました。



### 交流委員会 新年会

柳本宗閑社中 藤塚裕子

2月22日(土)に新潟駅前の「柳都庵」にて交流委員会の新年会が行われました。

参加者8名の少人数でしたが、H25年度の新入会員からお二人の参加をいただき、和やかに楽しい時間を過ごしました。今回参加していただいた昨年度の新入会員は大学生で、普段接する機会の少ない若い会員の方々から将来の夢や希望などを聞きながら、若さを羨ましく思ったり、当時の自分を懐かしく振り返ったり、又現在の自分を省みたりすることができました。

マンネリの日常を過ごしている私には刺激になりました。

お茶を習いながら、年齢や職業の違う方々と交流できることは、青年部の醍醐味だと思います。

茶道の世界では青年部世代はまだまだ若手ですので、卒業まで楽しく元気に青年部活動に参加したいと思います。

納涼会が楽しみです。

## 研修委員会 顔合わせ会

柳本宗閑社中 赤坂祐二

3月9日、研修委員会の顔合わせを、新潟駅前のビストロカシェットで行いました。新入会員1名を含む9名の参加。

美味しい料理と楽しい雰囲気の中、今期の活動について、良い話し合いが出来ました。

## ○各委員会 26年活動○

### 交流委員会

猪俣宗水社中 委員長 渡辺元子

今年度の主な行事が昨年と同じですが、継続する事も大事だと思います。

更にステップアップした行事にしたいと思いますので、皆さんには引き続きご協力頂き、楽しい青年部活動にしましょう。

よろしくお願い致します。

### 研修委員会

柳本宗閑社中 委員長 赤坂祐二

研修委員会の赤坂です。今年もう一年、お付き合い下さい。

今年は、蒔絵の体験と茶杓削りを行事として予定しております。興味は有るけど、きっかけが無いと中々体験出来ないような事を選んでみました。

一人でも多くの方に興味を持って参加して頂くと、嬉しいです。そして折角なので、皆で楽しくやって行けたらと思います。

おおぼけ委員長ですが、頑張ってください。どうぞ宜しくお願いします。

### 上越委員会

幸田宗和社中 委員長 小嶋陽子

上越委員会は今年は、6月のチャリティー茶会と9月の淡交茶会を中心に活動していく予定です。また、秋に勉強会を予定しています。

内容はまだ未定ですが、委員会活動の中で挑戦してみたい事を考えていきたいと思っています。

## ○行事予定○

### さくら茶会

日時 4月13日(日) 10時~15時

場所 遊神亭(新潟市白山公園内)

茶券代 300円

交流委員会による茶席です。

白山神社の桜を楽しみに、お茶を楽しみに、

気軽にお出かけください。

### 蒔絵体験講座

日時 4月20日(日) 10時~

場所 三条市鍛冶道場

会費 6000円

研修委員会行事です。

思いのこもった自作の干菓子器をデザインしてみませんか？

## 茶会予定

- 6月1日(日) 上越チャリティー茶会(上越市 雁木通りプラザ)  
7月6日(日) 新潟チャリティー茶会(新潟伊勢丹 丹庵)  
9月28日(日) 上越淡交茶会(上越市 高田別院)  
10月19日(日) 新潟淡交茶会(ANAクラウンプラザホテル新潟)

今からスケジュール帳に書き込んでください。

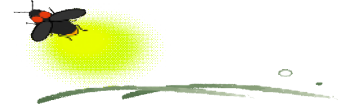
お茶会のお手伝いをして下さる方募集いたします、どうぞ宜しくお願いします！

- 10月12、13日(日・月(祝)) ブロック会員大会(長野県上田市)

茶会以外にも新入会員歓迎会、ブロック会員大会があります。

今年も色々と楽しみましょう♪

## 蛍茶会案内



青年部育成委員会より「蛍茶会」のご案内をいただいております。  
たくさんの蛍が舞う中での茶席は、昼間の茶会とは全く違う雰囲気です。  
後日詳細を連絡いたしますので、会員同士誘い合わせて是非見にまいりましょう。

- 6月28日(土) 会場 中村宗元先生宅(三条市)

## ○募集○

### 裏千家茶道国際セミナー受講者募集

英語による茶道の紹介方法を実践形式で習得するプログラムで、伝統文化である茶道を海外の方に正しく伝えることを目的とした、セミナーが下記日程にて開催されます。海外での茶道普及、お茶を通じた国際交流に関心をお持ちの方はご連絡ください。

応募資格：入門以上・日常会話程度の英語力を有する者・20歳以上

期間：平成26年6月14日(土)・15日(日)

会場：裏千家茶道会館及び裏千家学園

受講料：64,800円(セミナー代・教材費・食費・13日14日の宿泊費2泊分を含む)

申込締切：4月25日(金) 総本部必着

連絡先：阿部美栄子 TEL090-2620-2381

編集後記 花が咲きました。

花と一緒に笑顔の花を咲かす青年部にしたいですね♪ (み)